

糸島市読書ふれあい推進基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施概要

- (1) 意見等募集期間：令和3年12月1日（水）から令和4年1月5日（水）まで
- (2) 計画（案）の公表場所：市役所生涯学習課、市役所情報公開コーナー、糸島市立図書館（本館、二丈館、志摩館）、校区コミュニティセンター（15か所）、市ホームページ
- (3) 意見等提出先：公表場所に設置した意見投函箱、生涯学習課に持参、郵送、ファクシミリ、電子メール
- (4) 意見等提出状況：提出者数：4名、意見等数：21件

2 提出された意見等の概要と意見等に対する考え方

番号	ページ	意見等	意見等に対する考え方
1	5	<p>糸島市立図書館の概要</p> <p>※別途意見を書きます。現在まで全国の図書館の設計を担当して来た経験から当市の図書館、建設、運営に関して提案したいと思います。</p> <p>平成22年に1市2町が合併して、大図書館構想があったと思います。それが民間施設を利用して現在の本館になったのは10万都市の施設として恥ずかしいと思います。</p> <p>当市の場合ホール、美術館、図書館の文化施設に関係する整備が他都市と比べてあまり差があります。文化行政運営に関して糸島の独自色を出した整備を行うべきです。市庁舎、運動公園が文化施設より先だとはあまりに市の街づくりの基本方針の見直しを考えたほうがいいと思います。</p> <p>過去に設計者として全国の図書館の設計を行ってきました。少しでも参考になればと思い提案します。</p> <p>（以下、福岡県立図書館をはじめ、多数の図書館建設についてのご意見を頂きました。）</p>	<p>図書館建設に対するご意見ご提案については、参考意見とさせていただきます。</p>

2	6	<p>これまでの取組と課題 第1表 数値目標について</p> <p>わずかこれだけの項目では課題は見えないと思います。参考までに資料①「伊万里図書館の望ましい基準値」を添付します。施設、職員、資料、提供視点があれば市民が望む図書館に近づいて行くと思います。また市民にも具体的な目標を知ることができると思います。</p>	<p>課題の洗い出しについては、数値目標（P6）及び成果目標（P7）の毎年の進捗管理に加え、図書館及び市内施設利用者に関するアンケート（P8～11、P28～66）により行っており、今後も続けてまいります。</p> <p>また、市民の皆さんが基本的な目標を知っていただくことは大事なことであるため、具体的な取組毎に成果指標を設定（P25、26）し、進行管理（P27）を行います。そのほか、糸島市立図書館の概要において図書館利用実績に係る主要統計を報告してまいります。</p>
3	8	<p>14行目 糸島市立図書館の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策は評価しますが、移動図書館を走らせるような工夫や取組をしてほしかったです。今後もしばらくコロナの影響は続きます。移動図書館の検討をお願いします。 ・緊急事態宣言中に図書館が閉まっていたのはショックでした。こういう時こそその図書館では？と…。 ・図書館が何をするとところでどんなことができるのか。文字だけではなく絵で伝えると解りやすいと思います。資料②のように。 	<p>図書館運営・図書館事業に対するご意見・ご要望については、参考意見とさせていただきます。</p>

4

8 19行目 今までの取組の成果①糸島市立図書館の運営

施設全体及び職員対応について～

(フロア・空間の問題) (ゆっくり坐って読むスペースが欲しい)

- ・ (コロナもあるのかもしれないけれど、) ゆっくり座って読む、学習するスペースが少ない。ソファーなど一日中座って居られる場所がほしい。
- ・ 前原の図書館は (土地の関係で仕方ないのかもしれないけれど、) 3フロアに分かれている為、子供の見たい本と自分の見たい本の階が違うので、行ったり来たりで疲れる～。
- ・ 図書館は魅力ある空間づくりをしたらよくなると思います。見た目がおしゃれでくつろげるソファー席カフェコーナーがあると、わざわざ時間を作って行ってみたいと思う。飲食できる場所があるのは、本を読んだり借りたりする目的以外の人も足が向くと思います。武雄市の図書館は大好きです。
- ・ 座ってゆっくり読むスペースがなくなって残念です。憩いの場所として図書館を利用したいです。
- ・ 本の読み聞かせ、紙芝居、展示、展覧会、など、交流の場として、二丈館の2階・3階スペースを有効活用してほしい。
- ・ 静かに読みたい人のための、しーんとしたエリアを作る。静かにしたい人のためにはすでに自習室があるので、少し広げるとか。
- ・ 二丈館を主に利用しています。利用者もほとんどおらず、ひっそりとしていて図書館というより書庫、病院の待合室のような雰囲気があります。もっと温かみのある、本を読むのに居心地の良い空間になると嬉しく思います。
- ・ 読書スペースがもっと居心地が良くなったら、嬉しいですね。

(子連れでも安心して行ける図書館)

・今はだいぶ大きくなったので普通に本が借りられますが、子供がよちよち歩きの頃や赤ちゃんでぐずったり大きな声を出してしまったりしていた時は、たくさん本を借りたいのにゆっくり選ぶことも読むこともできませんでした。子供が歩いているだけで足音がうるさいと司書さんに注意されたこともあり、子連れには居心地の悪い空間だと思います。

・間仕切りのある絵本の部屋があったり、短時間でも託児サービスが受けられると小さい子連れのお母さんたちは利用しやすいと思います。

(多少のおしゃべりは許容)

・子どもが小さい時、子どもが絵本を声に出して読んだり、ひらがなが読めるようになったら、背表紙を声に出して読んだりしていた。司書さんに「しーっ！」って言われました。「読むことを楽しむ」「図書館に来ることを楽しむ」雰囲気づくりをしてほしいです。

・静かに読みたい人のための、しーんとしたエリアを作る。静かにしたい人のためにはすでに自習室があるので、少し広げるとか。

(飲食スペースがほしい)

・飲食スペースがほしい

・カフェコーナーがあると、わざわざ時間を作って行ってみたいと思う。飲食できる場所があるのは、本を読んだり借りたりする目的以外の人も足が向くと思います。武雄市の図書館は大好きです。

・糸島はコーヒーショップも多く、あちこちでお菓子を作っている方もいる。日替わりで糸島のカフェを紹介すれば人気のカフェコーナーができると思います。

・難しいとは思いますが、カフェがありコーヒー飲みながら本を読めたら図書館に行く回数が増えると思います。TSUTAYAのような感じですね♪

5	9	<p>6 行目 開館時間について</p> <ul style="list-style-type: none">・東京に住んでいる時は、開館が9時からで保育園に送った後に立ち寄ったり、仕事前に立ち寄ることができ便利でした。・週に1日だけでも閉館時間20時にしてほしい。（部活動をしている中高生の為にも、仕事帰りの方のためにも。）・3館のうち、1館は月曜日もあけてほしい。・週1日でいいので19：00まであけてほしい。夏の間だけとか。・閉館時間が20時くらいになると利用しやすいです。特に夏だけで日が長い時は、もう少し遅くまで開いてるといいなと思います。
---	---	---

6

9、48

P 9 10行目 糸島市立図書館の利用推進及び情報発信について

P48 どのようにすれば、今よりも沢山本を読めると思いますか。

(図書館の看板の設置をお願いします)

・二丈館について「図書館がどこか解らない」という声を多く聞きます。確かに福岡銀行の青い看板がよく目立っている。「二丈交流プラザ」と書いてあるので、図書館かどうか分からない。またその看板もシルバーに黒なので運転中の車からは細くて非常に見にくいです。また駐車場からの入口にも図書館の文字はない以前は道路標識にもあったのが公民館と一緒に消えてしまった。図書館を道路標識に書いてほしいです。

(図書館との交流、見学ツアー、出前講座)

・図書館の役割や使い方(貸出し、リクエスト、レファレンス)について、また本の探し方を学ぶ機会を設ける。

・他の図書館との交流、紹介、見学ツアー。

(ネットワークで結ぶ)

・図書室、図書館、博物館、九大図書館を結ぶ。小学生は校区外に図書館があるので、一人では借りれない。もし図書室と図書館が連携すれば図書館をもっと活用できる。同様に博物館や九大との連携もできたら。

(としょかん通信は回覧版で回したら図書館の認知度は上がります。)

(本との出会い、コンシェルジュ) ※図書館コンシェルジュが来館者へ情報・資料等の提供を行います。

- ・本のコンシェルジュサービスを、市民ボランティアも加えて、本格的に始める。
- ・司書さんおすすめのセットなど本のコンシェルジュ的なかたがセレクトしたセットなどがあると楽しいし、ゆっくり本を選ぶ時間がない人も本をたくさん借りられると思います。
- ・読んだことのない本との出会いの機会にもなるし、あったら楽しいと思います。
- ・本って楽しいんだよ～って人が窓口や図書館にいて欲しい。そうすれば本の並べ方や選択の仕方、図書館の空間の演出も魅力的になりそうだから。
- ・誰でも来ていいんだよというウェルカムな図書館員さんはお目にかかったことがない。物静かすぎて、子ども連れ立ったら申し訳ないと思い、出て行かないといけない雰囲気をかもしだしすぎている。この本、面白いよー！とか、こんなのあるよー！とか、気さくに話しかけてくれて、その人が何に興味がありそうかとか本のコンシェルジュ的な方がほしい。でも、寡黙で話しかけるなんてありえない雰囲気で、音楽がかかっている本屋の方が子連れで気楽に入れると思ったこともある。

7	11、48	<p>1 行目 不読率増加に対する取組の検討について</p> <p>(学生が本を読める環境の整備)</p> <p>(ネットワークで結ぶ)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学生は校区外に図書館があるので、一人では借りれない。図書館と学校の図書室をつなぎ貸出しができれば利用度はあがる。もしくは図書館に子どものほしい蔵書があることやリクエストできることを伝える。 <p>(出前講座、読み聞かせ)</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館の役割や使い方(貸出し、リクエスト、レファレンス)について小学校から高校まで1年に1度は出前講座などで学ぶ場をつくる。本の探し方を学ぶ為に図書館で調べ物を行う。・図書館の使い方について、ひとクラスずつでも図書館に来てもらって、説明する。・図書館の出前講座を学校でする。図書館を使った学習。・図書館がどんな場所であるかの本を読み聞かせする。 <p>(開館時間について)</p> <ul style="list-style-type: none">・中学生や小学生が、下校途中でも寄れるようにして欲しい。・図書館は月曜日が休館、二丈中学生は隣に図書館があるという好条件でありながら月曜日がノ一部活デーなので、部活動に励む学生は平日は本を借りることが出来ません。読書推進と言うことであれば、金曜日は20時まで開館してはどうでしょう。 <p>(移動図書館の巡回)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちがどんな所に集まるかを調査した上で休日にマルシェなどと一緒に移動図書館を走らせるような工夫が良いのではないか。 <p>(催し：本が好きな人との出会いの場を作ること。)</p> <ul style="list-style-type: none">・ある本との出会いで人生が変わったという話を聞く。 <p>(学校図書に対してしっかりとした予算措置を行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none">・予算がなければ、本が買えません。リクエストされた本が半年に1度しか購入出来ないの本を待てないと思います。また図書費が少なすぎてbookoffで本を購入していることを聞きました。国からの予算が学校図書購入に十分充てられていないことが原因ではないでしょうか。過去在籍していた議員からもこの問題は指摘があります。
---	-------	---

8	29	<p>1. 満足度に関する傾向（施設満足度94%に関して）</p> <p>この94%は、他の施設を利用してみたら変わってくると感じます。伊万里図書館の例を出しますと、空間の使い方、本の並べ方、カフェ併設、催し物展示物、各フロア部屋の有効活用など、多面的に施設が使えると、より充実度が増すと思います。</p>
9	30	<p>（2）充実してほしいジャンルの本に関して</p> <p>“小説”とありますが、どの方を対象にアンケートをとっているか…になります。私自身、小説が増えても行きません。全体的に“本”というものの見方、“本”という面白さ、“本があることで学びや生活につながる“ということを教えてもらう機会を増やしたり、話をしてもらったり…まんべんなく本の種類はあった方がよいと思います。</p>
10	31	<p>（図5）チラシ等についてお困りの内容を教えてください</p> <p>そもそもチラシを目にする機会が少ない。回覧板、市報、文化施設に貼ったり、掲載するのはもちろんですが、学校に配布する、HPを活用し、より若い世代の人に見てもらうには、Facebookやインスタグラム、SNSを活用していれば幅広くしていけると思う。</p>
11	32	<p>（図7）読まれた本について→自分で買った</p> <p>自分で買った人が多いということは“読みたい本”があるどうか。新刊はやはり注目する人が多いので、置いてもらいたいし、買える人はよいが“買えない人”に着目をして、“図書館にいけば無料で読みたい本がよめる”という利点をより市民の方に認識してもらえるとよいと考えます。</p> <p>“リクエスト”という使い方を知らない人もあまりにも多い。大切な図書館の使い方をより市民の方に知ってもらう事が図書館の利用頻度につながっていくと思う。</p>

12	32	<p>(図8) 本を読んでいない理由→読む時間がない</p> <p>読む時間がないのは明らかです。同世代(30~40代)は共働きの方も多く、子供も部活や習い事。それでも、すき間時間はスマホでゲーム。テレビをみる。活字をよむ=勉強=大変=いや。教育の面からも、子供達は、活字を面白くないと思っている子が多い傾向に思われます。</p> <p>“いかに本が楽しいか、面白いか。”を知って、感じてもらうには、“読み聞かせ”も大事ですし、幼い頃から、たのしい記憶を持ってもらう。“移動図書館”は最もよいと思います。バスに描かれたキャラクターでくる移動図書館は、保育園、幼稚園、小中学校にくることは、とても大きく心に残り、本の思い出にもつながると思います。小さい頃の楽しい記憶は、大人になってもことあるごとに思い返されると思います。それが、読む時間の増加につながると考えます。</p>
13	42	<p>(図8) 平日の自由な時間は何をしていますか</p> <p>ゲームをしている。子供が周りにも多いです。前にも書きましたが、本に触れる機会をふやすには…この時代に添っていくには、うまく電子機器を利用し、本に触れる機会をふやす。“ゲームよりも楽しい”という意識をふやす。</p> <p>例) 自分の持っている本を売る=古本市。その売り上げで、本を買う。人との交流をする。図書館に遊び場をつくる。本のある場所で、本と関わりのない活動をすることで、そこに人が集まり、その流れで、本に来てもらう。</p>
14	45	<p>(5) 学校図書館にはどのくらいの頻度で行く?</p> <p>学校図書館の本も古い本が多いです。“かりたいものがない”、“古い”小学校高学年の意見です。古い本でも面白い本はたくさんある。どうやって面白いことを伝えるか。学校に、本の作者に来て話してもらう。紙芝居をしてもらう。それは学校に限らず、図書館にもきてもらいたいです。学校の本を借りる子が増えれば、図書館も比例して増えると思います。</p>

15	46	<p>(図12) 糸島市立図書館にはどのくらいの頻度で行く？</p> <p>行くことのできない人も多くいます。移動図書館の利用。コミュニティセンターや、お店、ホットスポットに本を置くことができるようになったり、多くの人に本をかりる機会をふやしてもらいたい。そして、展示をする事、催事、企画をより活発にする事で、関わる周りの人に来てもらう。カフェの利用は。30~40代には大きく響きます。“カフェがあると来る。”と。</p>
16	46	<p>(図12) 糸島市立図書館にはどのくらいの頻度で行きますか。</p> <p>図下2行目 全ての対象で「行ったことがない」が最も多く…</p> <p>このことに関しては、地域別の貸出冊数について調べる必要があると思います。具体的な資料として平成28年度の資料③「小学校ごとの『市民一人当たりの年間貸出冊数』」を添付します。各校区の利用度をこの計画に記し、どのように改善するか検討されなければならないはずです。子どもの時に図書館を利用したかどうかは大人になったときの利用度に反映します。図書館ができて10年が経っても「行ったことがない」が最も多いというのはこれまでの施策に新しい視点を加えるべきです。人気の図書館には「居心地の良さ」を上げる声が多いです。飲食スペースがある。地域の作家さんの作品展、大人向けの本を囲む会（好きな本を薦める。）など図書館に関わる方を増やすことが必要でしょう。</p>

17	12	<p>2. 基本方針1『本と出会う環境の充実』 →基本方針の1に『本と出会う環境の充実』が掲げられていることには賛成ですが、地域（小学校区）による利用（貸出密度）の大きな格差は糸島市の図書館の最も大きな課題であると考えます。これまで糸島市教育振興計画（5.5冊）や糸島市長期総合計画（6.0）を大きく下回る（引津・東風・桜野・長糸・雷山・怡土→いずれも5冊以下）の現状を踏まえた取り組みが必要です。糸島市立図書館サービス基本計画（平成25年11月）においても「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも提供するをモットー」と明記していた。</p>	<p>ご指摘の地域利用格差については、P9に記載する課題「②糸島市立図書館の利用促進及び情報発信」及び「③読書推進」に起因するものと捉えており、これらに対してP15以降の「具体的な取組と成果指標」を掲げ、取り組んでまいります。</p>
----	----	--	---

【その他の意見】

番号	ページ	意見等	意見等に対する考え方
18		<p>各館の機能と運営方針 ・ 基本的サービス（各館共通） →3館いずれにも、市民の文化活動（集会・展示・発表・学習活動の場）としての記述がない。市民の様々な活動の場としての図書館を願っています。</p>	<p>ご意見は、前計画「糸島市図書館サービス基本計画」に対するご意見と解しますが、基本計画（案）中、基本方針1『本と出会う環境の充実』において、市民の日常生活や学習活動等の支援に加え、多様化する市民ニーズや新しい時代の流れに対応した取組への対応等、利用者ニーズに応えることとしております。</p>

19	<p>現在の“福吉コミュニティセンター”という表札を「二丈図書館」と表示してもらいたいです。図書館があると認識していない人も多く、標識にもない事は、皆への認知度の大きな部分だと思います。</p> <p>そして、図書館にくるために。利用していない人へのアプローチをどうするか。利用する人は、どんな手段でも来ます。情報も得ることができます。興味のない人は、そもそも意識が向いてない。違う形（カフェや展示、マルシェ、イベント、SNS）で、図書館を知ってもらう必要があると考えます。</p>	<p>図書館運営に対する参考意見とさせていただきます。</p>
20	<p>来館困難者へのサービス 分館としての二丈館・志摩館の活用促進とともに、地域の公民館図書室や文庫活動団体への団体貸出サービス等の充実を図ります。</p> <p>→このやり方では校区間の利用の格差は解消できないことは、これまでの活動から考えられることです。移動図書館の運行を含めた、全域サービスの計画・実施が欠かせないと考えます。</p>	<p>ご意見は、前計画「糸島市図書館サービス基本計画」に対するご意見となりますので、参考意見とさせていただきます。</p>
21	<p>5. 数値目標 / P13 表3</p> <p>→P10「このため、糸島では『公立図書館の設置及び運営上望ましい基準』に近づける用努力します（表3）」とあるのは賛成ですが、P13 表3の目標例はすべての指標が例示しておらず、しかも、これまで、糸島市が数値目標として掲げ設定したものには『年間購入冊数』『雑誌・新聞・視聴覚資料年間購入』等が欠落している、こういった実質的な意味をもつ指標と数値目標をあげることが重要だと考えます。（全ての記載を）</p>	<p>ご意見は、前計画「糸島市図書館サービス基本計画」に対するご意見となります。</p> <p>基本計画（案）においては、具体的な取組毎に成果指標を設定（P25、26）し、進行管理（P27）を行います。そのほか、糸島市立図書館の概要において図書館利用実績に係る主要統計を報告してまいります。</p>